

(一般屋内用)

一体型LEDベースライト
iDシリーズ

施工説明書
取扱説明書

保管用

連結金具（連結用器具）

NNFK(H) 91002
NNFK(H) 91003

連結金具品番	器具スタイル	適合器具品番		
		連結中用品番	連結右用品番	連結左用品番
NNFK(H) 91002	下面開放型 W150	NNLK41716J NNLK(H) 41716J	NNLK41717J NNLK(H) 41717J	NNLK41718J NNLK(H) 41718J
	下面開放型 W220	NNLK42723J NNLK(H) 42723J	NNLK42724J NNLK(H) 42724J	NNLK42725J NNLK(H) 42725J
NNFK(H) 91003	下面開放型 W190	NNLK41720J NNLK(H) 41720J	NNLK41721J NNLK(H) 41721J	NNLK41722J NNLK(H) 41722J
	下面開放型 W300	NNLK42731J NNLK(H) 42731J	NNLK42732J NNLK(H) 42732J	NNLK42733J NNLK(H) 42733J

- ・上記（ ）内は加工品番です。以降、加工品番および特注品番の記載を省略します。
- ・本器具はパナソニック製iDシリーズ埋込型下面開放型器具の連結用器具専用の連結金具です。
- ・本体施工はライトバーに同梱の説明書もあわせて参照してください。
- ・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 連結金具は必ず上表に記載のパナソニック製iDシリーズ埋込型下面開放型器具の連結用器具との組合せで使用する。
単体連結には使用しない。落下の原因となります。
- 施工は、施工説明にしたがい確実にこなす。施工に不備があると落下の原因となります。
- 金具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。

注意

- 湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
落下・感電・火災の原因となります。
- 金具の取付・取外しは手袋（手首まで覆われるもの）長袖作業服などの保護具を使用する。けがの恐れがあります。

各部のなまえと取付方法

警告

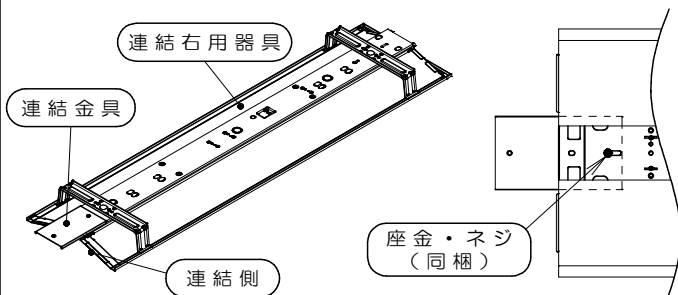
施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
ライトバーの取付・取外しは必ず電源を切る。

器具の取付・取外しは手袋など保護具を使用する。
けがのおそれがあります。

【NNLK42731J+NNLK42732J+NNLK42733Jの
例で説明しています。】

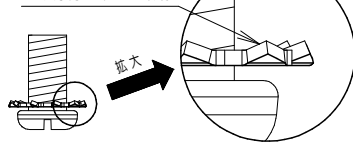
1 連結金具を器具本体に取付

- 連結右用器具の連結側（銘板側）に
下図説明のように連結金具を取付ける。
不備があると金具落下の原因となります。



<ネジに座金をとりつける方向>

座金の歯が本体に
当る方向でネジに取付

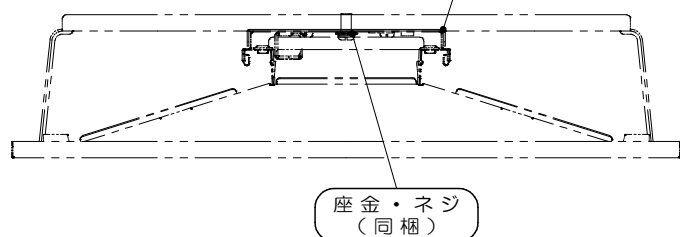


<ネジ取付位置>

長穴

長穴の器具端側にネジ止め
(注) 内側に取付けると逆側のネジ止めできません

連結金具

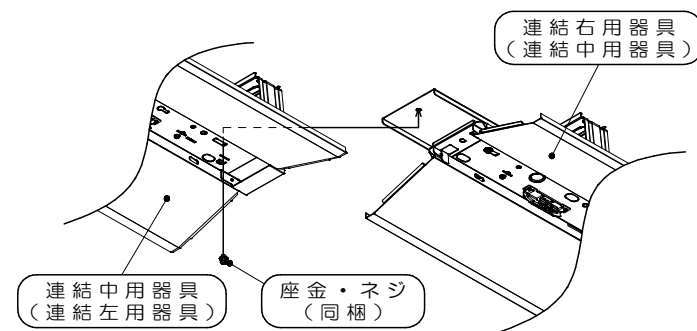


2 器具本体の施工

- ライトバー、又は本体同梱の施工説明書にしたがい
連結右用本体を取付ボルトで確実に取付ける。
不備があると器具落下・感電・火災の原因となります。

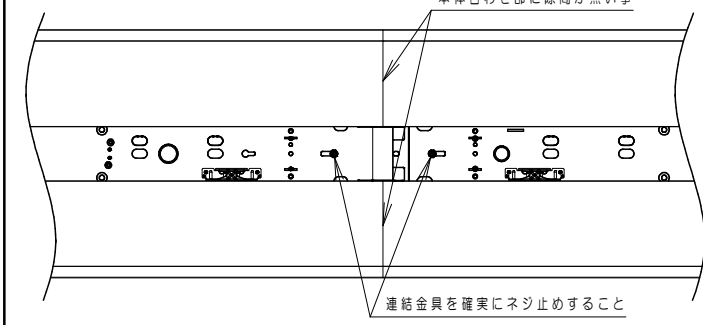
3 中用（左用）器具本体の施工

- 連結中用（左用）器具を右用（中用）器具に隙間ができないように、
施工説明書にしたがい取付ボルトで確実に取付ける。
不備があると器具落下・感電・火災の原因となります。
- 連結中用（左用）器具と連結金具を
手順1と同様にして取付ける。



<施工完了状態>

本体合わせ部に隙間が無い事



以降、ライトバー同梱の施工説明書を参照。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 金具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 金具が破損した状態で使用しない。落下の原因となります。